



# とりこぼさない支援体制整備事業について

(重層的支援体制整備事業)

---



## 京都府長岡京市

# 京都府長岡京市の概要 (R5.4.1現在)

- 人口 81,948人
- 世帯数 37,470世帯
- 面積 19.17km<sup>2</sup>
- 高齢化率 26.8% (R4.4.1)
- 小学校10校 中学校4校

市の利便性 → 「かして暮らし」

かして暮らしくく  
長岡京

市のなつかしさ → 「くらしくな暮らし」

京都盆地の西南部に位置し、京都と大阪のちょうど中間にある、コンパクトなまち。

交通は、京都縦貫道、JR東海道本線、阪急京都線のアクセスが良好で、通勤・通学に便利のため、マンションや住宅地の開発が進み、人口は微増。



西山連峰をはじめ、竹林や田園風景と豊かな歴史資源

# 重層事業の取組み背景・地域課題

- 背景 H23年、市独自の福祉総合相談「福祉なんでも相談室」を設置

機能

分野や年齢を問わず、福祉や生活の**総合相談**

問題の整理と必要な制度・サービスへの**繋ぎ**

1つの窓口では  
解決しづらい相談  
が増えてきた

- 地域課題・・・制度・サービスで解決できない「**はざま**」の課題

- ◆ 制度やサービスの対象でない、支援の**繋ぎ先がない**  
支援対象から外れたり、**支援が継続されていない**
- ◆ 制度の縦割りで、必要な**支援が届きにくい**
- ◆ **複雑・複合的な課題（早期発見、早期支援へ）**

## —事例—

- 本人に困り感がないが、周辺が大変困っている
- 発達障がい疑いなど確定診断がない
- 問題が複雑化して混乱
- 8050問題
- 不登校・ひきこもり
- ヤングケアラー・ダブルケア
- 触法関係、社会復帰
- 多様な価値観、多言語、多文化への対応

中高年のひきこもり  
発達障がいの疑い  
(グレーゾーン)

生活や社会的課題をもつ人の  
相談があっても、**制度やサービス  
が使えない**

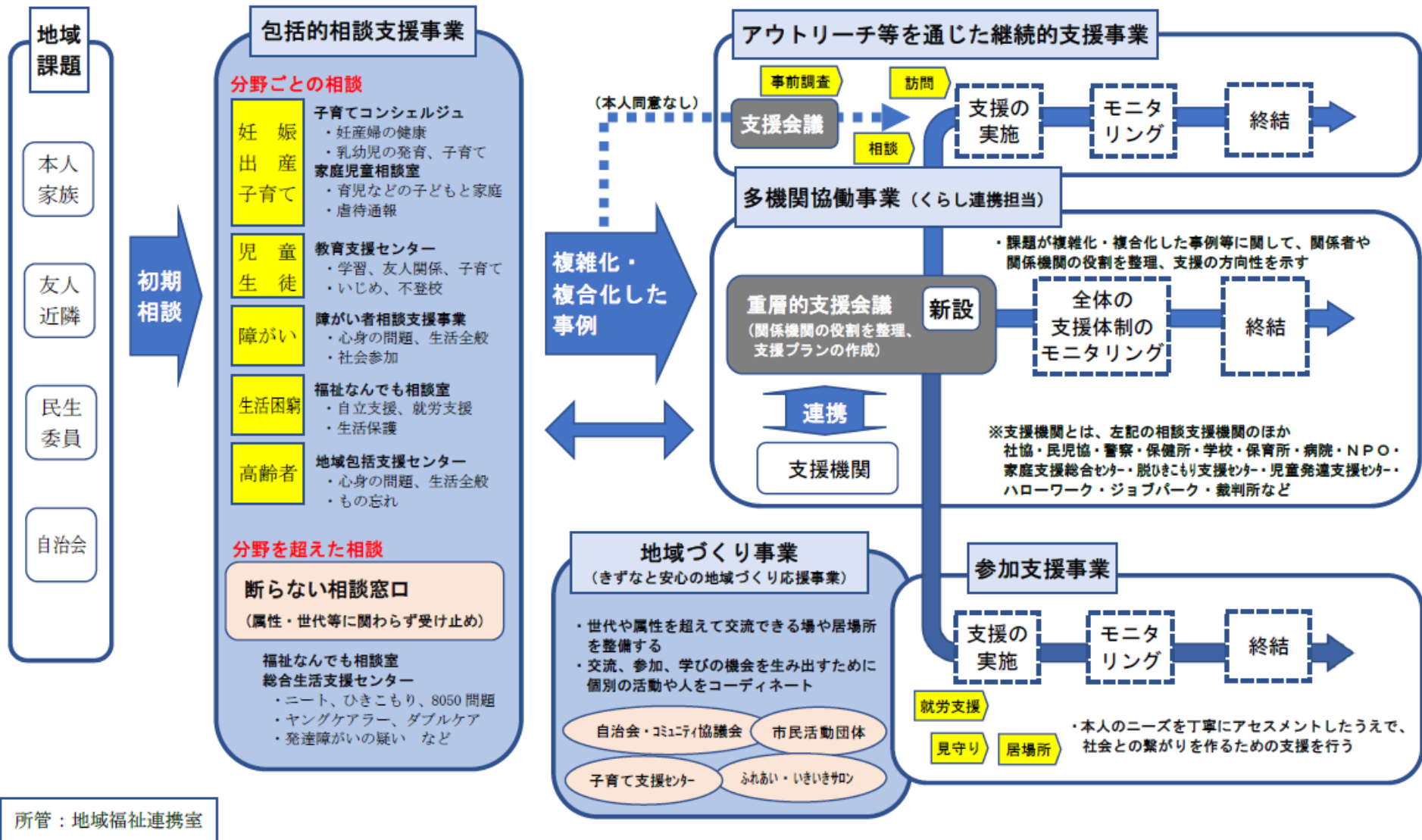
### 支援内容

- ・**生育歴の掘り起こし**  
本人の強み探し、資格取得や  
就労訓練、病院受診勧奨
- ・障がい者手帳の取得  
など

	重層事業の実施までの経過	詳細
H23	市独自、福祉的総合相談窓口の新設  名称：「福祉なんでも相談室」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野や年齢を問わず、福祉や生活上の相談対応</li> <li>・問題の整理と必要な支援へのつなぎ</li> <li>・制度利用のための総合調整・案内</li> <li>・しごとの相談</li> <li>・学習支援</li> </ul>
H27	生活困窮者自立相談支援事業の開始 第2次地域健康福祉計画策定	実施機関：福祉なんでも相談室
H28	きずなと安心の地域づくり応援事業開始	委託：社会福祉協議会
R3	ひきこもり相談支援窓口の設置 第2次地域健康福祉計画（中期計画）策定	実施機関：福祉なんでも相談室 重層事業実施に向けて、社協との連携強化 成年後見制度利用促進事業実施
R4	アウトリーチ支援員の配置 ひきこもり専門相談会の実施	市社協より、福祉専門職が市に派遣 毎月1回
	重層的支援体制整備 移行準備事業の実施 （京都府や京都府社協のバックアップ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本格実施時期の決定</li> <li>・実施形態の検討（直営か委託か）</li> <li>・庁内外機関への研修会開催（周知）</li> <li>・組織改編の検討（教育と福祉連携や中核機能）</li> </ul>
R5	重層事業の本格実施 市独自 「とりこぼさない支援体制整備事業」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施形態【直営】</li> <li>・所管課は、「地域福祉連携室」              多機関協働事業開始              →「くらし連携担当」新設</li> </ul>

# 長岡京市とりこぼさない支援体制整備事業（重層的支援体制整備事業）の概要

- 地域住民の複雑化・複合化したニーズに対応する断らない包括的な支援体制を整備するため、**相談支援**（包括的相談支援事業・多機関協働事業・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業）、**参加支援事業**、**地域づくり事業**を一体的に実施するもの。
- 関係機関と連携を図りながら、見守りや伴走による支援をコントロールする重層的支援会議を担う「**くらし連携担当**」を新設する。



# (新設) くらし連携担当の体制等

- ・ **地域福祉係と併設し、地域福祉（共助）と福祉相談相談（公助）の連携**  
既存の「福祉なんでも相談室」で培った経験を活かした「断らない相談」、  
多機関協働「くらし連携担当」の新設と地域福祉係と連携  
[地域福祉連携室：地域福祉係、くらし連携担当、福祉なんでも相談室]

配置：保健師1名、社会福祉士1名（兼任）、教職経験者1名

※市社会福祉協議会との連携により、社協から専門職派遣あり

機能：重層的支援体制整備事業の事務局機能

事業：多機関協働事業、アウトリーチ等継続支援事業、

参加支援事業の実施

# 多機関協働事業 各種会議体

## 地域健康福祉推進委員会

(部会：健康づくり部会・児童福祉部会・障がい福祉部会・高齢福祉部会)

目的：健康福祉を総合的に推進・地域健康福祉計画の進捗確認

各計画や施策等と一体的に推進

## (仮称)生活困窮者・重層的支援体制整備ネットワーク会議

(委員：健康福祉部、総務・税・商工・住宅・水道・学校の庁内関係部局)

目的①：生活困窮者の自立支援施策の総合的な推進

目的②：重層的支援体制整備事業の進捗

## 重層的支援会議

定例：月1回(支援会議と同時)

随時：緊急ケース等

構成員：健康福祉部内ほか

## 支援会議 (市設置要綱あり)

定例：月1回(重層的支援会議と同時)

随時：緊急ケース等

構成員：健康福祉部内ほか

\* R5年度から、庁外関係機関の参画を検討

# とりこぼさない支援を考える プラットフォーム

「人・考え方・活動」に出会える場所、市民活動の中で活動課題を解決できるアイデアを共有できる場所として実施

- ・目的：地域づくり事業・参加支援事業の促進、支援者の資質の向上、地域課題の把握
- ・実施体制：行政、市内NPO法人、社会福祉協議会からコアメンバーとして、参画し運営。コアメンバー会議、市民対象の事業実施については 地域福祉の専門アドバイザー講師がトータルアシストする。
- ・実施回数：令和4年度1回、令和5年度4回予定
- ・参加団体：行政、社会福祉協議会、社会福祉法人、NPO法人、民間活動団体、当事者家族会、教育関係機関、労働関係機関、民生委員、金融機関、市内の福祉関係機関等（生活困窮、ひきこもり、ひとり親家庭・子育て支援、障がい福祉、高齢福祉など）

とりこぼさない支援をうみだす交流会

人・考え・活動に出会える場所!

あなたの活動が、  
きっと何かを生み出します

『とりこぼさない支援を考えるプラットフォーム』  
プレイベント

日時 令和5年 7月7日(火) 14:00~15:30

場所 長岡京市 中央生涯学習センター 3階メインホール

プログラム

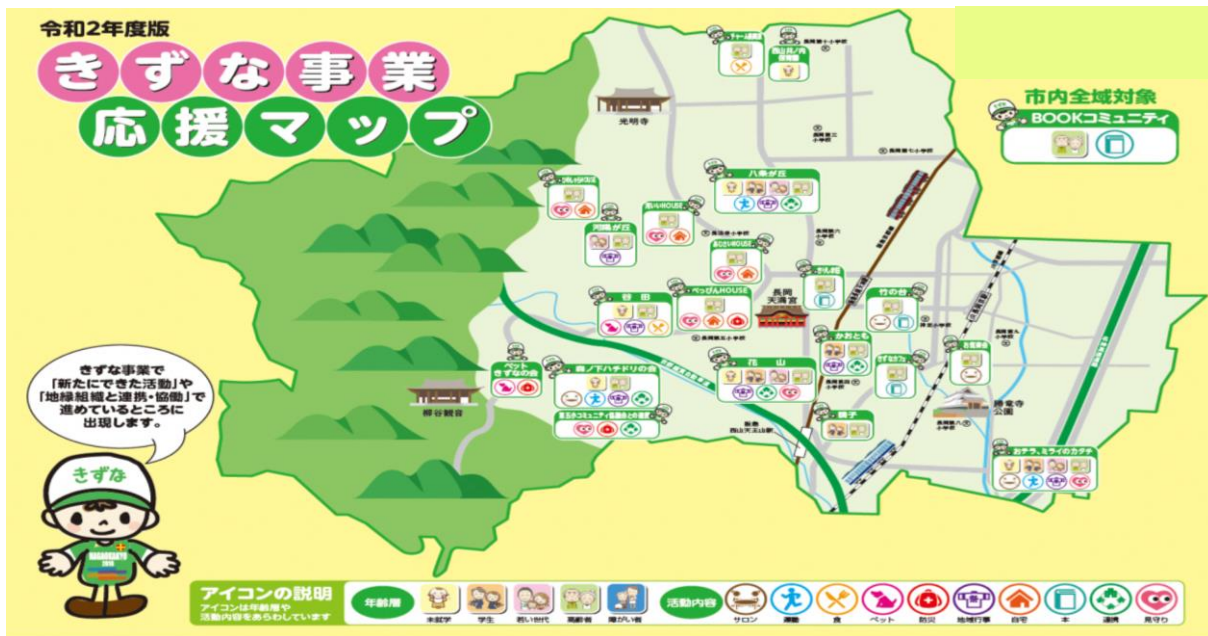
- 【第1部】(20分) 長岡京市のすめも 業務的支援体制整備について
- 【第2部】(60分) 『みんなで作るワーク』 ワーキングタイム
- 【お茶タイム】(FREE) お時間のある方は、さらにつながりも楽しみましょう

問い合わせ先 長岡京市社会福祉課 ☎075-955-9516





# 地域づくり「きずなと安心の地域づくり応援事業」



～H28年度からスタート～

- 目的：地域課題を地域住民が解決できるため 互助・共助の再構築
- 委託先：市社会福祉協議会
- 体制：各小学校区にきずなコーディネーターが担当
- きずな会議：月1回開催 参加は、福祉だけでなく、自治振興担当部署等参加

### 【事例】ある地域から・・・

自治会組織がないので、地域で交流する場がない！と相談。



地域の小学生が企画 餅つき大会

お寺で何かできないか

民生委員など住民が考える。

子どもの居場所づくりや高齢者のつとめ



地域の見守り活動



# 参加支援事業の一例

## 「大学との包括協定による学習支援」



フードバンクによる食材の提供

年齢の近い学生のボランティア

学力向上く学習の機会 世代間交流の場

